

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">保育内容（人間関係）</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部教福 2 回生 教育教福 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p>桜井智恵子 長瀬 美子</p>
<p>授業テーマ</p> <p>幼児の人間関係を理解するとともに、関係を豊かにする活動について考える</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>現在の子どもたちの状況、幼児期の人間関係の特質や重要性を理解し、子どもたちが豊かな人間関係を築いていくために必要な指導のあり方について学ぶことを目的としています。概要は以下のとおりです。</p> <p>①人間関係をめぐる問題状況、②幼児期の人間関係の発展形態 ③「人間関係」指導の要素と見通し、④指導の実際</p>		
<p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期末に行なう試験（論述式）によって評価します。 ・授業時間の提出物（レポート等）は、評価の際に考慮します。 		
<p>テキスト</p> <p>なし</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>講義時に紹介します。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>第 1 回 オリエンテーションー本講義の目的と進め方</p> <p>第 2 回 子どもの「人間関係」の現状（1）ー保育現場の実際</p> <p>第 3 回 子どもの「人間関係」の現状（2）ー行動への発現を中心に</p> <p>第 4 回 子どもの「人間関係」の現状（3）ー個と集団の成長</p> <p>第 5 回 生活・あそびの変化と人間関係の変化</p> <p>第 6 回 戦後の生活とあそびを知る</p> <p>第 7 回 生活と遊び ヒアリングから学ぶ</p> <p>第 8 回 領域「人間関係」設定の趣旨</p> <p>第 9 回 「人間関係」の目標（1）</p> <p>第 10 回 「人間関係」の目標（2）</p> <p>第 11 回 指導の実際（1）ー突発的な事態をとらえた指導</p> <p>第 12 回 指導の実際（2）ー長期的な展望に立った指導</p> <p>第 13 回 指導の実際（3）ークラスづくりと人間関係の指導</p> <p>第 14 回 指導の実際（4）ーあそびを通した人間関係の指導</p> <p>第 15 回 まとめ</p>		